



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2020年(令和2年)12月度 臨時理事会 議事録

【日時】 2020年12月13日(日) 9:30 -12:30

【場所】 Zoom

【出席者】 Zoom 計10名

理事: 森山、小口、西久保、森口、藤村、稲葉、義本、川瀬、太田(~10:30)

監事: 土屋、植村

【欠席者】 奥野(会長委任)

【審議開始準備】

・ 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記: 義本、承認者: 小口、西久保

【審議事項】

1. 予算消化状況の中間報告について(会計: 稲葉)・・・S01,S02

・ 審議資料 S01「2020 予算との比較」および S02「残高試算表」に基づき以下の説明があった。

・ 「2020 予算との比較」は、各理事が下期見通しを入力し、作成した。

・ 教育研修収益については、新型コロナのため、教育セミナーを会場実施から Web 実施に変更したこと、今年から鬼金セミナーの REP 登録を見送ったこと等から参加費を試験的に下げた。調査研究収益はシラバス支援実施中のものがあり、未入金、会費収入は未納会費があり、現時点で予算に対して約100万円の減額見通しとなる。

・ 経費については、新型コロナのため米国 NSPE 年次大会への渡航を中止すること、セミナー等の会場費がかからなくなったことから、予算に対して約200万円の減額見通しとなる。

これに対して、土屋監事から今期決算見込みに関して以下の指摘があった。

・ 下期末納会費 80%回収を前提とした未納会費予想 44.4 万円については、期末時点では全額会費収入として計上すると同時に、過年度からの未収繰越 15 万円と合算して総額約 59.4 万円となる。この未収金合計に対して、年度末棚卸を行い、30 万円を貸倒損失すると仮定すれば、次年度繰越未納金残は 29.4 万円と BS に記帳となる。結果として、PL 上の下期収支見込は、現在予想 79.4 万円に未納会費収入 44.4 万円(実入金はないが)を加算して、123.8 万円として決算することになり、プラス幅は更に増加する。

・ 未納会費のうち、過年度の未納金と今期のみ未納金との分別予想により、貸倒損失額および未収金残等が連動して変わるので、上記の決算見込結果が影響されることを念頭にいれる必要がある。

以上が複式簿記会計の特徴で、目に見える金の動き(単式簿記)とは異なってくる。

2. 持続化給付金の申請(会計: 稲葉)・・・S03

・ 上記 1. 項の予算と見通しをもとに、持続化給付金の申請について審議した。

・ 10 月末に紺野税理士から頂いたメールより、仮に給付金を申請した場合には、約 85 万円の給付の見通しとなる。

・ 持続化給付金とは「感染症拡大により、特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

支え、再起の糧となる、事業全般に広く使える、給付金を支給します。(経産省 HP)」のことである。

このことについて、出席した全理事から意見を聞き審議した結果、以下の理由で持続化給付金を申請しないことに決定した。

＜申請しない理由＞

- ・2020年度の収支見込みは約100万円の余剰金ができる(黒字である)
- ・仮に受給した場合でも、今年度は使えない。(なぜなら、持続化給付金は2020年予算に見込まれていないため使用のためには次回総会(2021年6月)の承認が必要のため)
- ・したがって、「特に大きな影響を受けている事業者に対して、事業の継続を支え」という持続化給付金の趣旨に合致しない(倫理的に申請が躊躇される)
- ・むしろ、過年度からの累積余剰金について、会員サービスとしてどのように還元するかというここ数年の命題を考えることの方が重要である。
- ・また、アフターコロナ(ニューノーマル)時代の収支構造も念頭においた予算編成も求められる、との意見もあった。

3. 20周年記念行事(企画:義本)

20周年誌について、発行のスケジュールと、初稿内容についての説明があり以下の通り決定した。

・発行スケジュールについては、

- ① 2020年12月中に、20周年記念誌PDF版を完成させ、メールによる全会員への案内、ホームページへの掲載を行う。
- ② 紙版については2021年1月後半を目途に会員、関係団体に郵送する、ことが承認された。なお、紙面は図表、写真が多数あることからカラー版とし、印刷部数については、各分会から関係先への配布等を集計し印刷部数を決定する。(400~500部程度を想定)

・完成に向けた役割分担として、

- ① 初稿の内容確認は指名された役員が各章を分担してチェックすること、
 - ② 不足のある資料及び写真については担当を確認の上準備すること、
 - ③ 資料編は全英訳しないこととし、そのため、資料のタイトルを英語にし、凡例等に補助的に英語を併記するなどして、英語版は作成しない、
- をそれぞれ12月20日(日)までに行うことになった。

その後、最終チェックを行い、PDF版の発行は12月25日(金)を目途とする。

【報告事項】




1. JPEC連絡会再開について(事務局)
 - コロナ禍で開催を見送っていた連絡会を、Zoom利用で再開すべく調整する。至近なら1月開催となる。
2. PE,FE受験登録相談会(会員:小口)
 - 12月20日にZoom方式で開催予定。準備中である。

【次回理事会予定】 2021年1月16日(土) 9:30~



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

【議事承認印】

承認	森山 亮	
承認	西久保 勲	
承認	小口 力	
書記	義本 正実	